

新型コロナウイルス災害 友の会活動のあり方にも工夫を



新型コロナウイルス感染症が広がり社会のあらゆる生活面に被害をもたらしました。あらためて、社会のあり方が問われています。経済効率や利益重視でなく、いのちやくらし、公衆衛生、社会福祉最優先の社会が必要と実感させられます。

友の会だより

苦小牧健康友の会

苦小牧健康友の会
発行責任者
竹田 登紀子
電話72-3291

友の会の皆様お元気ですか。新型コロナウイルスの人への感染が始まって世界中の人・物の動きが止められたような3ヶ月間でした。感染の予防が「人と人が接触しないこと」ということですから、人が日常的にとる行動のかなり部分中止することだと受け止めました。そのため緊急事態宣言の行動規制に従うことになりました。

私たちの友の会もこの期間最小限の活動にとどめました。友の会新聞の届けは宅配をやめて郵送に切り替えました。班活動、サークル活動、恒例の「春のつどい」「友の会総会」なども中止としました。



電話で安否確認を行う三隅副会長

また7月号から友の会新聞の郵送作業と宅配活動も再開します。



3密を避けて郵送作業を行う役員

さて6月に入り小学生や中学生の通学姿を目にするようになりました。日常が戻りつつあることを感じます。これからはコロナと共存しながらの生活が日常になるようです。友の会の活動も少しずつ再開していくことを役員会で確認しました。各ブロックや班、サークルで活動を計画してください。

新型コロナウイルス感染症が広がる中、勤医協苦小牧病院ではいち早く入院患者さんへの面会禁止措置を取りました。また、5月より玄関先で来院される患者さん全員に非接触式体温計を使って発熱チェックを実施しています。血液の中の酸素量を測定し、他の患者さんとの接触を避ける場所での診察を医師が対面して頂きます。



病院玄関で発熱チェック

来院患者さんの発熱チェックを実施

郵送作業ボランティアのみなさんと宅配者のみなさんよろしくお願ひいたします。新緑の美しい季節となりました。戸外に出

心配事は友の会にご連絡下さい

特別定額給付金の手続きはお済ですか。申請の仕方が分からない、必要書類のコピーができないなど、ひとりで困っている事がありましたらご連絡ください。友の会室は会員みなさんの事務所です。お気軽にお立ち寄りください

友の会室 ☎/FAX 72-3291

友の会健診を受けましょう

苦小牧市から「受診券」が届いている方、協会けんぽ家族の方など健康管理のため年1回は友の会健診を受けましょう。

お問合せ 勤医協苦小牧病院
健診係 ☎ 72-3151

感染拡大状況が落ち着くまで、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

苦小牧健康友の会
会長 竹田 登紀子

ておいし
たいです
ね！空
気を吸

シリーズ12宅配者紹介



有珠の沢町の熊崎マサ子さん（82才）

私は1991年に有珠の沢町の住民になりました。勤医協苦小牧病院が開設10周年を迎えた年でした。憩室で、古い畳の職員休憩室で、勤医協新聞の帯封作業をお手伝いしました。協力会員に切り

替え、拡大するために訪問活動で地域を歩くのも楽しい時間でした。昔手配り、今は会員同士の繋がり、病院職員と会員の繋がりも少しづつ希薄になって来た様に思っています。組織とかがハード面ではすごくなり、今

の時代、自己管理とか自己責任とか気分的に何か堅苦しい気がします。90年代半ばに友の会が出来、帯封は各宅配者が自分の分をするようになって、私も友人二人と一緒に有珠の沢を引受けたのが最初で、もう25年経ちました。

超高齢化になった今、残念なことには友人二人は体調を崩して宅配から抜けてしまいました。新しい仲間も増えていますが、私も健康の許す限り勤医協を信頼し、仲間との繋がりを大切にしたいと思っています。

友の会バスは、長く運転をしている吉田守さんに昨年の暮れから新たに西崎憲蔵さん、曾我部利彦さんが加わり初めて3名体制での運行と強化されました。新しい運転手さんもようやく慣れてきた時

友の会事務局
木村 眞智子



左から西崎さん・吉田さん・曾我部さん

期、新型コロナウイルス感染症が広がりました。そんな中でも3名の運転手さんは車内の消毒を徹底的に行い、運行を続けてきました。利用者のAさんには「こんな時期でも病院に連れて行って頂けた」とお礼を言われ大変励まされました。友の会バスは月々金曜日まで元気に運行していますのでどうぞご利用してください。今後は、多くの会員さんが利用出来るように運行路線の拡大も検討しようと考えています。

新型コロナウイルス感染の中 運行を続ける友の会バス

苦小牧の自然

1

カラス

コロナ禍で外出も制限され自然に触れる機会も少なくなり、今月より自然観察指導員（日本自然保護協会）の谷口勇五郎さん（「苦小牧の自然」について寄稿して頂きました。谷口さんは友の会会員の宅配者。友の会行事の新企画「友の会自然散策ウォーキング」のインストラクターを務めてもらいます。



くちばしが太くおでこの高いのがハシブトガラス、細い方がハシボソガラスです。前者は「カーカー」と澄んだ声と真っ直ぐな姿勢で鳴き、目付きがきつく繁殖期には襲ってくるものがありません。後者は「ガーガー」と濁った声とお辞儀をする姿勢で鳴きます。のんびりと草原などで餌を探しながら歩いています。カメラでカラスを撮っていると思われそうなので、人が見ていないようなときに撮ります。ところが、彼らは視野が広くよく見えていて、望遠レンズを向けるとすぐ逃げます。たまたま、支笏湖畔で、カメラを



ハシボソガラス



ハシブトガラス

向けても逃げずに、ポーズまでとってくれた1羽がいました。しかし、襲ってくる時は必ず後ろからです。逆らう

と互いにエスカレートするので、襲われそうなのは両手を高く上げる、傘を担ぐ、後ろをチラッと見る、と処理できます。つがい（夫婦）仲良く、皿型の巣で卵は3〜5個、せいぜい子ガラスは1〜3羽で、「7つの子」は無理です。

7月のサークル・サロン活動について

各サークルなどの開催状況についてはお問合せください。

友の会新聞宅配郵送作業

7月28日（火）9:00～午後より宅配新聞のポストおろしが出来ます

友の会自然散策ウォーキング

と き：7月18日（土）9時友の会室集合
先：錦大沼
定 員：10名 友の会バス利用（無料）
申 込：友の会事務所（定員になり次第×切）
1時間半から2時間程度の行程
歩きやすい服装、水・おやつは各自準備